

# 船舶事故調査報告書

平成30年3月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成29年10月16日 13時15分ごろ
発生場所	香川県丸亀市本島西方沖（園州） 江浦港西防波堤灯台から真方位023° 2.2海里付近 （概位 北緯34° 23.7′ 東経133° 44.1′）
事故の概要	ヨットNAKUPENDAⅢは、南進中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成29年11月6日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	ヨット NAKUPENDAⅢ、5トン未満
船舶番号、船舶所有者等	280-35158兵庫、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	センターボード先端に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、広島県福山市走島から香川県坂出市与島へ向けて備後灘を約5ノットの対地速力で自動操舵により機走していた。</p> <p>本船は、丸亀市広島北西方沖を東進中、船長が広島と本島の間の水路（以下「本件水路」という。）を南進することを思い立ち、航行予定経路を変更して広島北方沖で右転して本島西方沖を南進中、船体が急に停止した。</p> <p>船長は、状況が把握できないので、118番通報し、海上保安庁から指摘されて園州と呼ばれる浅所に乗り揚げたことを知った。</p> <p>船長は、事前にGPSプロッターで航行予定経路の確認を行ったものの、本件水路の状況を確認しておらず、園州の存在を把握していなかった。</p> <p>本船の喫水は、中央のセンターボード先端までが約1.2mであった。</p> <p>船長は、本件水路に設置されていた安全水域標識である 薑 鼻北東方灯浮標及び右舷標識である園州灯浮標をいずれも認めていなかった。</p> <p>船長は、本事故後、GPSプロッターに園州が表示されていたことを知り、航行予定経路を変更する前に同プロッターを見ておけばよかったと思った。</p>
分析	本船は、広島北西方沖を東進中、船長が、航行予定経路を変更して

	<p>本件水路を南進することとした際、ＧＰＳプロッターで本件水路の状況を調査しなかったことから、本島西方沖の園州の存在を把握せずに本件水路を航行し、園州に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、本船が、広島北西方沖を東進中、船長が、航行予定経路を変更して本件水路を南進することとした際、ＧＰＳプロッターで本件水路の状況を調査しなかったため、本島西方沖の園州の存在を把握せずに本件水路を航行し、園州に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・航行予定経路を変更する場合、新たな航行予定海域付近の障害物などをＧＰＳプロッター等で適切に把握すること。</li> </ul>